

ウッドバッジ実修所第二教程 ベンチャースカウト課程 セッションの目標

	セッション	セッションの目標
第1日	§ 1 実修所について (30分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウッドバッジ実修所の目的と目標を理解する。 2. ウッドバッジ実修所の運営を理解する。 3. コースの日程を理解する。
	§ 2 指導者の役割と責務 (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャースカウト隊の運営に必要な知識と技能を理解し、実践できる。 2. 指導する内容と支援する内容の区別を理解し、状況に応じた役割を発揮できる。 3. ベンチャースカウト年代における自主性を理解し、実践的なスカウトへの指導と支援ができる。 4. 自己の訓練ニーズを整理し認識する。
	§ 3 チームビルディング (210分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大型工作物の製作と、安全管理が指導できる。 2. 製作作業がチームの一体感を高める効果があることを知る。
	§ 4 高度な野外活動 (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高度な野外活動を理解し、指導や支援ができる。 2. ベンチャースカウトと高度な野外活動の関連性を理解する。 3. 高度な野外活動の行うことによる効能(メリット・デメリット)を理解する。
	§ 5 営火研究 I (歓迎の営火) (30分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の基本訓練へのモチベーションを高め、スカウトとの親睦方法を学ぶ。
第2日	§ 6 ちかいとおきて (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スカウト運動の原理を理解し、「ちかい」と「おきて」の関連性を理解する。 2. ベンチャースカウトに「ちかい」と「おきて」を認識できるように指導ができる。 3. ベンチャースカウト年代の特性を理解し、「ちかい」と「おきて」の実践について指導ができる。 4. 指導者自らが「ちかい」と「おきて」の実践を行うことの意義を理解する。
	§ 7 ベンチャープログラム (210分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャースカウト部門におけるスカウト教育法の各要素の関連性を理解し、具体的な行動を理解する。 2. ベンチャースカウト活動の目標を理解し、各項目の具体的な活動を指導と支援ができる。 3. ベンチャープログラムはスカウトのニーズや環境に適応して、柔軟に対応することを理解する。
	§ 8 ベンチャー活動 I (構想・企画) (180分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スカウトのニーズを引き出し、プログラムに発展させることを理解させる。 2. プログラムの骨子(概要)を明瞭にする企画書をスカウトが作成できるように指導と支援ができる。
	§ 9 ベンチャー活動 II (計画) (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラム企画書から、プログラムの具体性を高めて、計画書の作成の指導と支援ができる。 2. スカウトが計画書を作成する際に必要な知識と技能を知り、指導と支援ができる。
第3日	§ 10 ベンチャー活動 III (実習) (180分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コースで作成した計画書に沿って、全部もしくは一部を実習し、実施に向けた指導と支援ができる。 2. プログラム実施時の留意すべき事項を理解する。
	§ 11 アドベンチャー旅行 (翌日に続く)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1泊移動野営を体験し、野外活動の意義を理解する。 2. 企画に沿った1泊移動野営を計画し、実施する。 3. 実施後に、報告書を作成し、参加者で気づきを共有する。 4. 計画、実施、報告の各段階の体験からスカウトへの指導や支援を理解させる。
第4日	§ 12 ベンチャー活動 IV (評価) (135分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スカウトのプログラム実施の報告書作成を指導と支援できる。 2. プログラムの評価を行い、スカウトへのモチベーションを高める指導と支援ができる。
	§ 13 社会へのアプローチ (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャースカウトがスカウト組織外での活動することの意義を理解し、広く社会での活動ができるように指導することができる。 2. 地域社会・学校でのスカウト活動について留意すべき事項を理解する。 3. 指導者自身が地域社会との関係を良好に保つことの意義を理解し、実践できる。 4. 地区、都道府県連盟、日本連盟の各々のレベルでの活動を支援できる。
	§ 14 プログラムの改善 (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャースカウト活動を通して、スカウトの成長に貢献できる。 2. PDCAサイクルを活用して、活動のスパイラルアップする指導と支援ができる。
	§ 15 営火研究 II (なごりの営火) (45分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の実務訓練へのモチベーションを高め、スカウトとの親睦方法を学ぶ。
第5日	§ 16 第三教程(実務訓練)に向けて (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第三教程の進め方を理解し、上級訓練の修了を目指す。